

10月9日10時35分頃の震動波形について

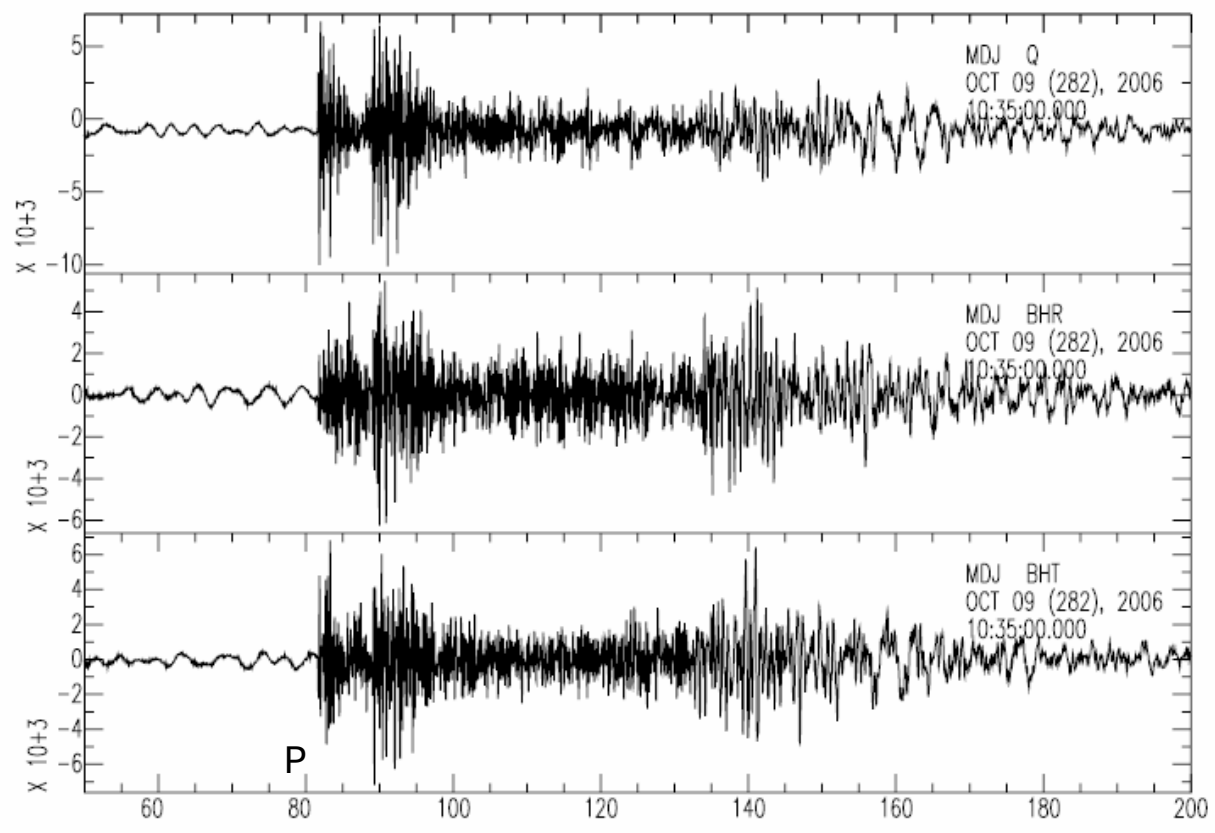
平成18年10月9日10時35分頃に発生した北朝鮮北部を震源とする地震（マグニチュード4.9）について、気象庁において平成18年10月9日10時35分頃に観測された震動波形と、北朝鮮北部で発生した地震（平成14年4月17日M4.6）の波形の比較を行いました。

今回の震動はS波が不明瞭であること等の特徴があり、この2つの波形の比較で見れば、今回の震動が自然地震ではない可能性があると考えられます。

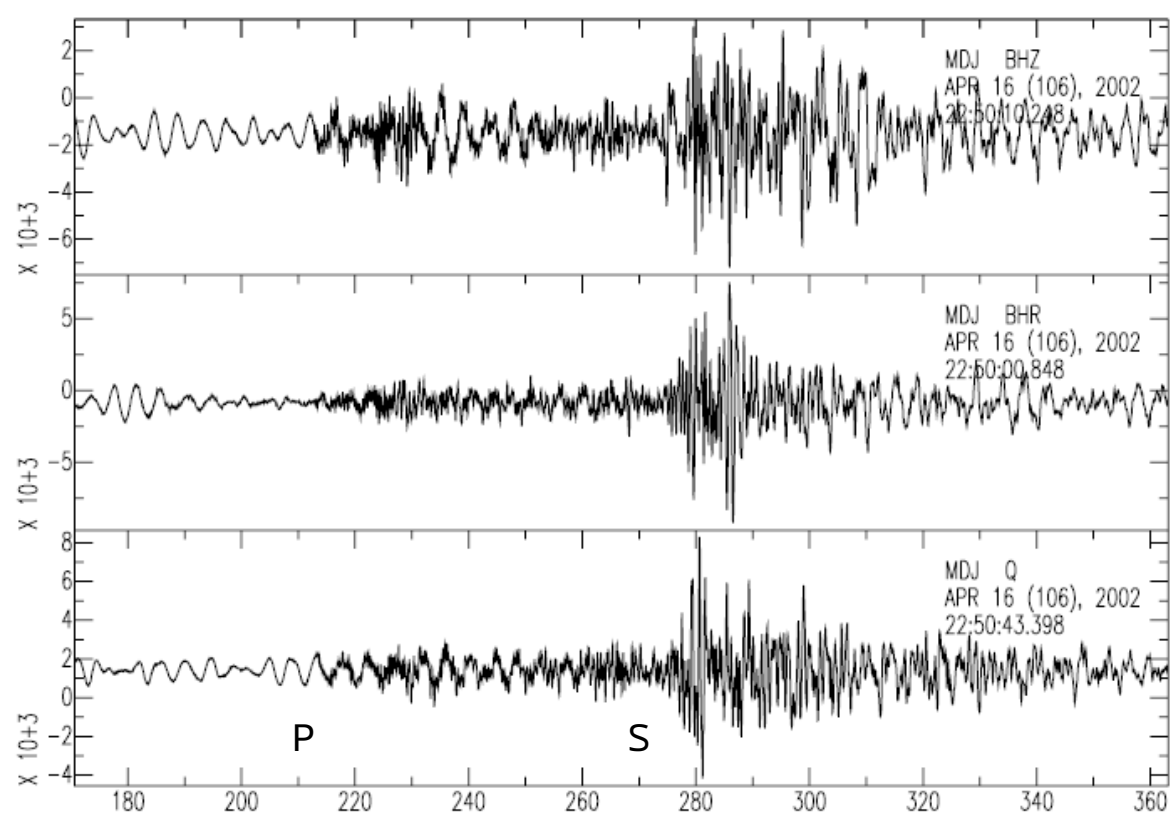
比較した波形の観測点は、国内の観測点では平成14年の自然地震は観測されなかったため、IRIS（Incorporated Research Institutions for Seismology；大学間地震学研究連合）の中国牡丹江（ムータンヂアン）（別添1）と韓国仁川（インチョン）（別添2）を利用しました。

牡丹江観測点の波形
上から上下成分、水平動 1、水平動 2

今回の震動波形

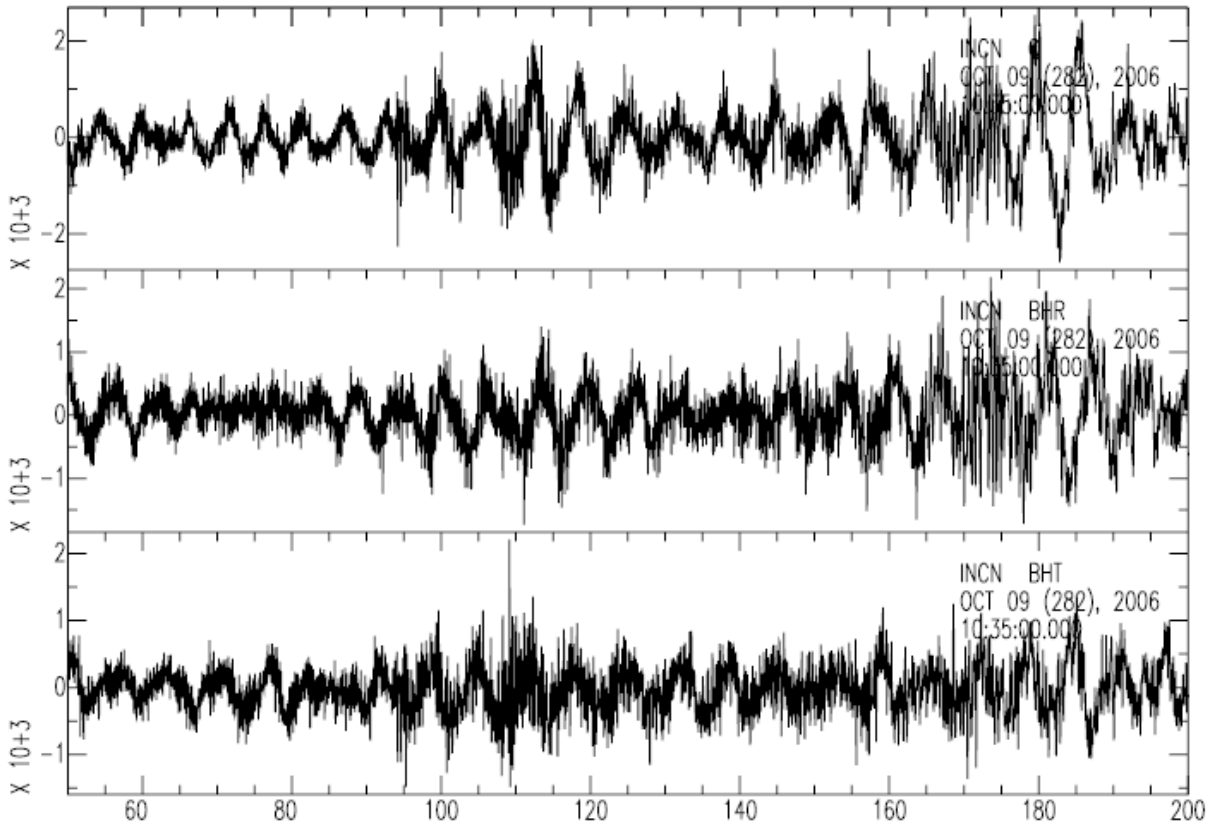


平成 14 年の地震の波形

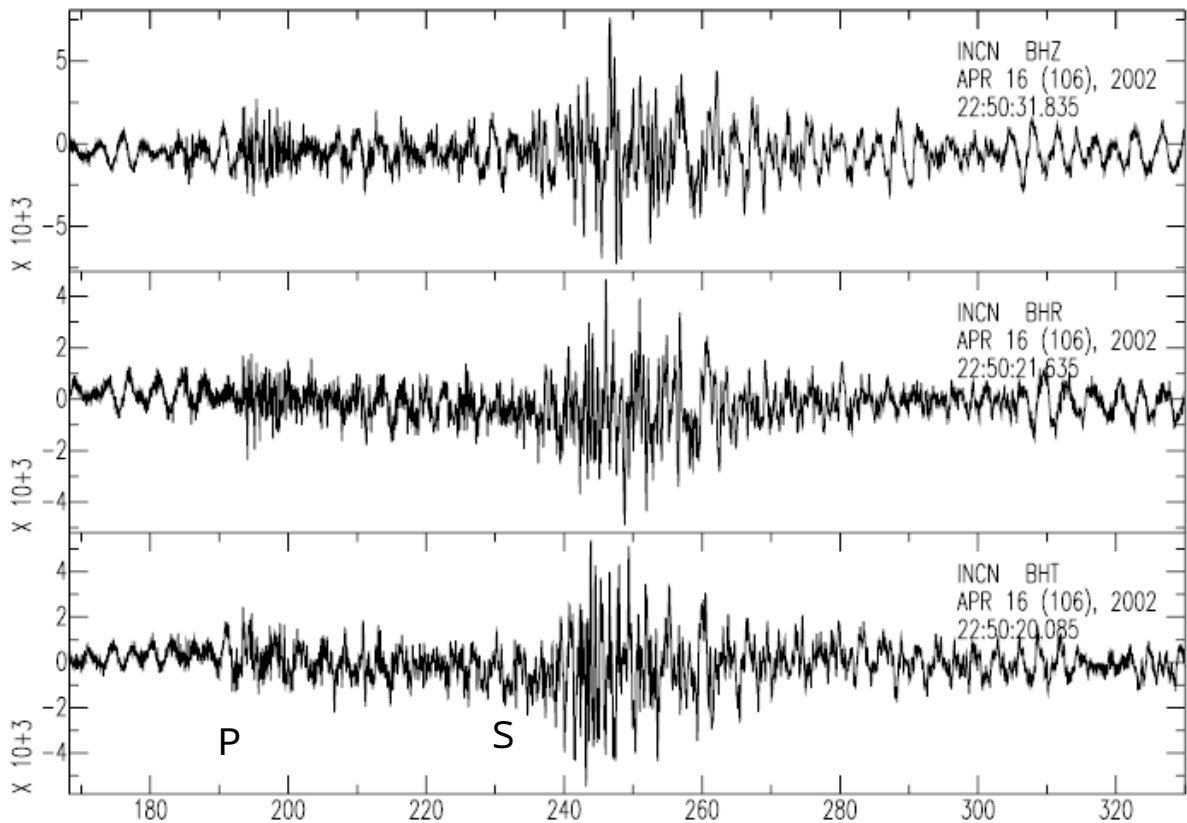


仁川の観測点の波形
上から上下成分、水平動 1、水平動 2

今回の震動波形



平成 14 年の地震の波形



今回波形比較に利用した IRIS 観測点の位置と震央

✕ 今回の震源 (北緯 41.2 度、東経 129.2 度)

✚ 平成 14 年 4 月 17 日の地震 (北緯 40.7 度、東経 128.7 度)

